

静岡県月例経済報告

(令和8年7月号)

……令和8年5月を中心とした県内経済のすがた……

No. 603



静岡県誕生150周年

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	7
・ 需要面	7
・ 生産面	15
・ 雇用面	17
・ その他	20
III 静岡県主要産業の動向	24
IV データからみた県内主要産業	27

利 用 に あ た っ て

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryo/getsureihokoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和8年5月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

令和8年5月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待されるが、中東情勢の影響による燃料・石油関連製品の価格高騰や調達の不安定化など景気を下押しするリスクに留意が必要である。また、雇用・所得環境や金利・為替の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している。
- ・ 設備投資は、増加している。
- ・ 輸出は、増加している。
- ・ 生産は、横ばいとなっている。

（下線部は前月からの変更箇所）

需 要 面

「個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している。」

大型小売店販売額（5月）は、スーパーが3か月ぶり、百貨店が2か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額（5月）は、コンビニエンスストアが2か月ぶり、家電大型専門店が5か月連続、ドラッグストアが9か月連続、ホームセンターが3か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも5か月連続で前年実績を上回った。

自動車新規登録・販売台数（5月）は、軽自動車が2か月ぶり、乗用車が2か月連続で前年実績を上回ったため、総数でも2か月連続で前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数（5月）は、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家、貸家がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回ったため、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

「設備投資は、増加している」

日銀短観（3月調査）の令和8年度の設備投資（含む土地投資）（計画）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（5月）は、3か月連続で前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(5月)は、5か月ぶりに前年実績を上回った。

「輸出は、増加している」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額(5月)は、二輪自動車類が2か月ぶり、原動機が8か月連続、エアコン、科学光学機器がいずれも7か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車(5月)が5か月連続、自動車の部分品が10か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも8か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額(5月)は、原動機が2か月ぶり、魚介類及び同調製品が6か月連続で前年実績を上回ったものの、紙類及び同製品が2か月ぶり、自動車の部分品が4か月ぶり、木材が2か月連続、パルプが9か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも4か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、765億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、横ばいとなっている」

鉱工業生産指数(5月)は、はん用・生産用・業務用機械、電気機械がいずれも2か月ぶり、輸送機械が2か月連続で前年水準を下回ったものの、化学が4か月連続、パルプ・紙・紙加工品、食料品・たばこがいずれも2か月連続で前年水準を上回った。総合では、前年と同水準であった。なお、前月比は2か月連続で増加した。

鉱工業在庫指数は、総合では前年と同水準であった。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる」

有効求人倍率(5月)は1.09倍となり、前月を0.03ポイント上回った。64か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.08ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(5月)は、12か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(4月)は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高(5月)は、前年同月比 1.5%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(5月)は、前年同月比 46.4%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回った」

企業倒産(5月)は、件数は15件(前年同月比 11.8%減)と前年実績を下回り、負債総額は4,405百万円(同 166.5%増)と前年実績を上回った。

<トピックス>



静岡県 令和8年度「外国人材マッチングサポート」運営事務局
(本事業は静岡県より株式会社パソナが受託し、運営しています)

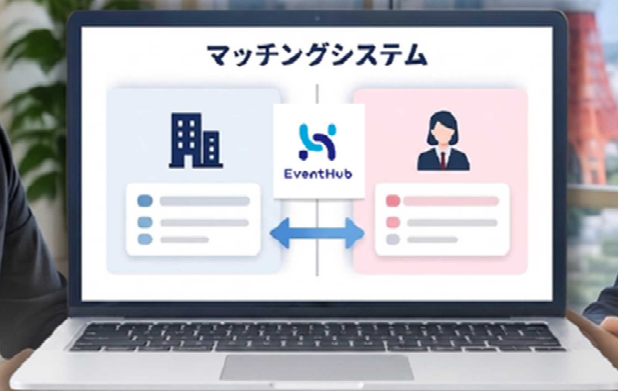
Work in SHIZUOKA

人手不足でお悩みの県内企業様へ

距離を超えて、優秀な人材と出会う。新しい外国人材マッチングサポート

希望と強みを見える化
理想の採用へ

マッチングシステム



優秀な人材と
出会いたい



県内企業



マッチング
成立

日本での就職を
実現したい



外国人材

≡ EventHubの強み ≡



かんたん検索

スキル・専攻・日本語力などで
人材を効率的に検索



プロフィール充実

学歴・スキル・経験が
わかりやすく確認できる



メッセージ機能

気になる相手と直接やり取りで
相互理解を深められる



スケジュール管理

面談日程調整から面談開催まで
一元管理でスムーズに

【お問合せ】

Tel : 03-6633-3876

Mail : shizuoka.soudan@pasona.co.jp

お申込み: <https://client.eventhub.jp/simpleForm/7387a5a3-078a-4778-8e07-cfd41742c0ff>



2026
9月は事業承継推進月間です。

Grow the Future

未来を切り拓く
事業承継



成長を目指す中小企業の支援

静岡県事業承継推進月間

静岡県事業承継ネットワークでは、9月を「事業承継推進月間」として、中小企業・小規模事業者の事業承継を集中的に啓発する月としています。セミナーや講座、ご相談を通じて事業承継に必要な知識や情報をご提供し、事業者が事業承継に向けて第一歩を踏み出せるよう支援していきます。

9月4日(金) 事業承継推進セミナー開催!

事業承継における女性経営者の活躍

お申し込みは
こちらから▶



(第一部/対談)「第三者承継」成功の鍵とは?

昨年度に続き、「後継者人材バンク」を利用して事業を引き継いだ経営者にご登壇いただき、どのように事業を成長、発展を図っているのか、第三者承継の成功の鍵を探っていきます。

(第二部/トークセッション) 女性経営者による事業承継及びその支援

事業を引き継いだ経営者や、次期事業承継者が自ら相談役となり、女性承継予定者やその会社代表者への支援を行う「A・NE・GO」にご登壇いただき、経営者・支援者の双方の視点から話を伺います。

日時 2026年9月4日(金) 受付 13:30 開始 14:00 終了 17:00

会場 静岡商工会議所 5階ホール(静岡市葵区黒金町20-8)

申込み 静岡県事業承継・引継ぎ支援センターの2次元コードよりお申込みください。

お問合せ 静岡県事業承継・引継ぎ支援センター TEL.054-275-1881

対談 株式会社 Colorful Studio 代表取締役 袴田 久美子 氏

ファシリテーター 静岡県事業承継・引継ぎ支援センター統括責任者 清水 至亮

トークセッション 静岡県女性経営者団体 A・NE・GO

株式会社 山崎製作所 代表取締役 山崎 かおり 氏

株式会社 大川原製作所 代表取締役社長 大川原 綾乃 氏

株式会社 芹澤工業 専務取締役 芹澤 菜緒子 氏

フジ物産株式会社 代表取締役社長 山崎 伊佐子 氏

ファシリテーター 株式会社るるるキャリア 創業者・顧問 内田 美紀子 氏

入場無料

事業承継を考える上で欠かせない 「事業承継計画」をeラーニングから

現経営者と後継者は、何年後におとずれる事業承継に向けて承継プラン(事業承継計画書)を策定し準備していくことが有効です。そのためのeラーニング講座をご用意。静岡県事業承継・引継ぎ支援センターのエリアコーディネーター2名が講師となって、分かり易く解説します。

※各動画はチラシ裏面の2次元コードから
ご覧いただけます。

SBS ラジオ/アットエス 「未来に残したい静岡グルメ遺産」

未来に残したい「逸品グルメ」を広く募集。伝統の味を守る飲食店を訪問し、SBS ラジオで本年度も秋に放送予定。WEB サイトでは過去の取材動画や記事を紹介しています。地元で愛される飲食店を次世代につなぐプロジェクトです。



▲こちらから
ご覧いただけます



静岡県事業承継ネットワーク

054-275-1881

【主催】静岡県、静岡県事業承継ネットワーク(事務局:静岡商工会議所 静岡県事業承継・引継ぎ支援センター)

【共催】静岡県商工会連合会、日本政策金融公庫 静岡支店・浜松支店・沼津支店、静岡県信用保証協会

【協力】静岡市、浜松市、公益財団法人静岡県産業振興財団、株式会社静岡新聞社・静岡放送株式会社、東京海上日動火災保険株式会社 静岡支店、アクサ生命保険株式会社 静岡支社

Shizuoka College of Technology

私の「スキ」が
未来をつくる。

SHIZUOKA CAMPUS

- 機械・制御技術科
- 電気技術科
- 建築設備科

NUMAZU CAMPUS

- 機械・生産技術科
- 電子情報技術科
- 情報技術科

就職率[※]
98.5%
※令和8年2月現在
求人
倍率 **18.9倍**
※令和8年3月卒業予定の
大学生の全国平均1.66倍

授業料の安さ
全国1位[※]
年額 **234,600円**
※全国の職業能力開発
短期大学校との比較

就職に有利
多様な資格
技能検定・
電気主任技術者など
最大 **12種類**

少人数教育
20~30
人/学科

実習の割合
6割
以上

OPEN CAMPUS 2026

開催日程

2キャンパス6学科 SCHEDULE

	令和8年				令和9年			
静岡 キャンパス	5/16 ^土	6/13 ^土	7/18 ^土 午前・午後	8/25 ^火 授業見学会	9/12 ^土	11/7 ^土	1/30 ^土	3/13 ^土
沼津 キャンパス	5/23 ^土	6/20 ^土	7/11 ^土 午前・午後	8/26 ^水 授業見学会	9/19 ^土	11/14 ^土	1/16 ^土	3/6 ^土

■ 開催時間10時~(2時間程度) ※ 7月開催分については、【午前】10時~、【午後】13時~ ■ 受付は30分前から ■ 最初に全体説明があります。



静岡県は

パートナーシップ構築宣言

を促進しています

県では、適切な価格転嫁の機運醸成や取引適正化に向けて、令和5年6月7日に産官労の13団体で「パートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性向上に向けた共同宣言」を行い、参画団体が連携して取組を進めてきました。

この取組をより一層推進するため、令和7年9月9日、新たに金融2団体が参画し、内容を拡充した共同宣言(裏面)を発出しました。

パートナーシップ 構築宣言とは



「パートナーシップ構築宣言」は、サプライチェーンの取引先や付加価値向上を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、「発注者」側の立場から企業の代表者の名前で宣言するものです。



▲ 共同宣言式の様子(令和7年9月9日)

パートナーシップ構築宣言登録数 (R8. 6. 30時点)

全国
6位

県内

4,833社

全国

99,185社

優遇措置・メリット

パートナーシップ構築宣言を宣言・登録した企業は、以下のような優遇措置・メリットが受けられます！

- 県補助金の加点措置等
- 企業イメージの向上
- 官公需における公契約条例に基づく優先発注
- 取引先との信頼関係構築

登録後にお願いしたいこと

パートナーシップ構築宣言の登録後も、宣言の実効性向上のため、以下の取組をお願いします

- 社内外への宣言の周知
- 定期的な宣言内容の見直し
- 宣言内容の実行
- 代表者や担当者等、登録情報が変更になった場合の登録変更

静岡県「パートナーシップ構築宣言」ホームページ
静岡県 経済産業部 商工業局 商工振興課
TEL : 054-221-2182

URL : <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1054361.html>



「パートナーシップ構築宣言」の登録はこちら
(公財)全国中小企業振興機関協会
TEL : 03-6228-3802

<https://www.biz-partnership.jp/>



Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

5 月 = 40,594百万円

* 前年同月比： 2.0%増

(県内3百貨店、165スーパー合計)

<概 況>

5月の大型小売店販売額は40,594百万円で、前年同月比 2.0%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、スーパー（前年同月比 1.3%増）が3か月ぶり、百貨店（同 6.8%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（同 1.4%減）が17か月連続、身の回り品（同 5.2%減）が19か月連続、で前年実績を下回ったものの、飲食料品（同 0.2%増）が3か月ぶり、家庭用品（同 13.9%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は3.7%増と、2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1月	2月	3月	4月	5月
販 売 額 (百 万 円)	39,321	40,885	48,140	41,546	36,973	40,370	38,153	40,594
前 年 同 月 比 (%)	4.7	5.5	0.8	3.7	3.6	▲ 0.5	▲ 0.5	2.0
うち 百貨店 (%)	2.3	1.7	▲ 2.5	0.7	1.7	▲ 0.2	1.7	6.8
スーパ- (%)	5.2	6.2	1.5	4.2	3.9	▲ 0.6	▲ 0.8	1.3
(参考1) 全国前年同月比 (%)	3.3	3.2	▲ 0.1	2.6	1.8	1.1	2.0	5.0
うち 百貨店 (%)	4.2	0.9	▲ 1.0	2.4	2.0	3.4	5.6	8.8
スーパ- (%)	3.0	4.2	0.4	2.6	1.8	0.3	0.8	3.6
(参考2) 県前年同月比 (店舗数調整前)	4.7	5.3	0.6	2.7	1.9	▲ 0.4	0.8	3.7

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1月	2月	3月	4月	5月
衣 料 品	▲ 14.6	▲ 15.4	▲ 24.1	▲ 4.8	▲ 9.0	▲ 7.4	▲ 4.8	▲ 1.4
うち 紳士服・洋品	▲ 19.3	▲ 19.7	▲ 31.0	▲ 10.7	▲ 12.9	▲ 14.3	▲ 11.9	▲ 9.8
婦人・子供服・洋品	▲ 12.4	▲ 12.8	▲ 20.0	▲ 2.8	▲ 7.3	▲ 5.8	▲ 3.2	0.8
身 の 回 り 品	▲ 19.3	▲ 20.0	▲ 20.3	▲ 5.5	▲ 1.8	▲ 20.3	▲ 11.3	▲ 5.2
飲 食 料 品	5.9	6.2	3.2	4.3	3.3	▲ 0.9	▲ 1.2	0.2
家 庭 用 品	▲ 5.6	▲ 3.2	▲ 11.5	2.5	8.8	3.1	▲ 0.8	13.9
うち家庭用電気機械器具	18.6	23.9	7.4	17.7	34.6	19.9	17.0	35.1

(注) 店舗数調整済、全月速報値

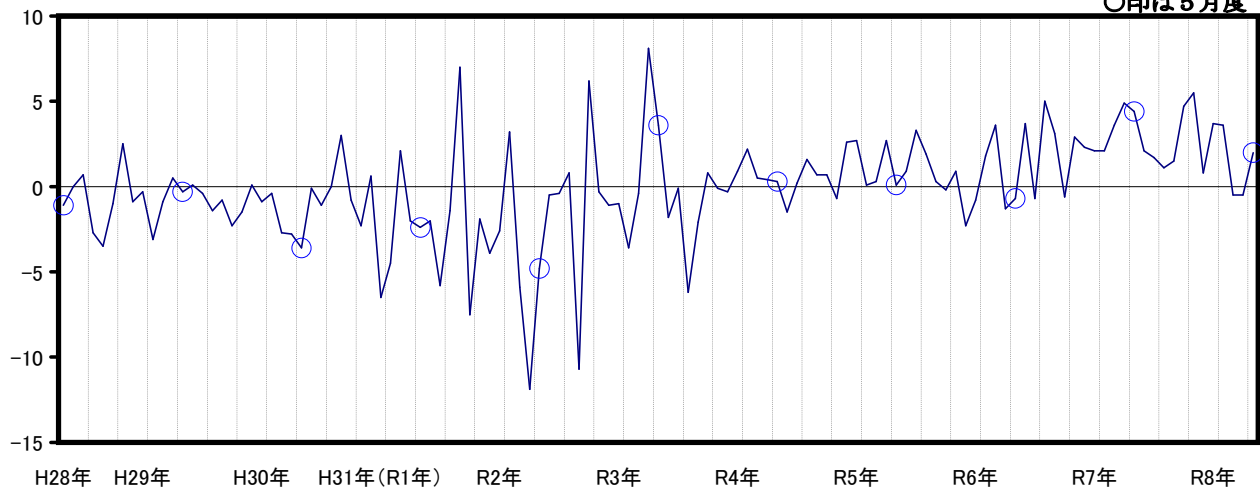
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比 (%)

<資料>経済産業省

○印は5月度



(2) 専門量販店等販売額

5 月 = 85,229百万円

*前年同月比： 6.4%増

(県内91家電大型専門店、1,675コンビニエンスストア、628ドラッグストア、112ホームセンター合計)

<概 況>

5月の専門量販店等販売額は85,229百万円で、前年同月比 6.4%増となり、5か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、コンビニエンスストア（前年同月比 1.7%増）が2か月ぶり、家電大型専門店（同 28.4%増）が5か月連続、ドラッグストア（同 4.9%増）が9か月連続、ホームセンター（同 8.8%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1月	2月	3月	4月	5月
販 売 額 (百 万 円)	79,002	80,144	89,670	79,645	73,609	85,619	80,355	85,229
前 年 同 月 比 (%)	2.1	3.8	▲ 0.3	3.7	2.7	2.4	3.7	6.4
うち 家電大型専門店 (%)	9.7	6.8	▲ 2.6	11.9	4.0	3.0	10.3	28.4
コンビニエンスストア (%)	0.8	2.6	0.5	1.3	1.8	2.3	0.0	1.7
ドラッグストア (%)	1.9	5.1	1.2	3.8	4.3	2.6	5.6	4.9
ホームセンター (%)	0.7	0.3	▲ 6.0	2.3	▲ 1.6	1.1	4.2	8.8
(参考) 全国前年同月比 (%)	4.5	5.3	1.5	3.8	3.0	3.9	4.6	7.8

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

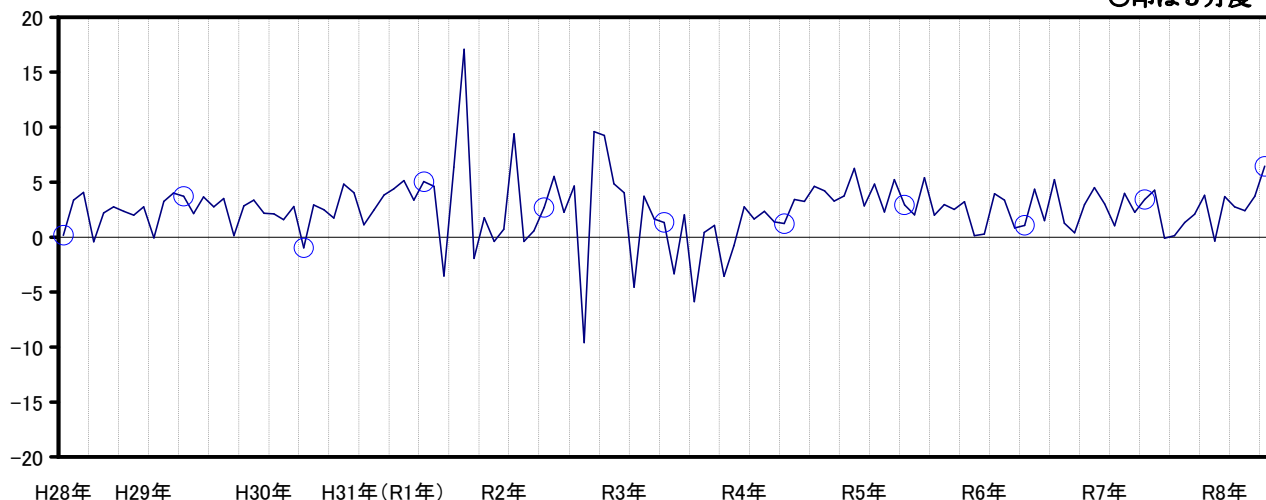
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比 (%)

<資料>経済産業省

○印は5月度



(3) 自動車新規登録・販売台数

5月＝ 10,227 台

*前年同月比： 4.5%増

(乗用車新規登録台数、軽乗用車新規販売台数合計)

<概況>

5月の自動車新規登録・販売台数は、10,227台で、2か月連続で前年実績を上回った。
車種別にみると、軽自動車（前年同月比 5.6%増）が2か月ぶり、乗用車（同 3.8%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7年10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月
新規登録・販売台数(台)	12,525	11,460	10,982	11,930	13,481	15,422	11,132	10,227
前年同月比(%)	0.9	▲ 6.2	2.8	▲ 9.8	▲ 7.0	▲ 2.6	4.5	4.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 2.8	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 6.2	▲ 7.3	▲ 3.2	9.7	2.8

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

(注) 新規登録・販売台数は、乗用車と軽乗用車の合計値

<車種別新車新規台数前年同月比の推移>

(単位：%)

	R 7年10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月
新規登録・販売台数	0.9	▲ 6.2	2.8	▲ 9.8	▲ 7.0	▲ 2.6	4.5	4.5
乗用車	▲ 2.6	▲ 5.9	6.0	▲ 11.7	▲ 10.5	▲ 7.3	16.8	3.8
軽自動車	6.3	▲ 6.5	▲ 1.3	▲ 7.0	▲ 2.0	5.1	▲ 12.2	5.6

<資料>県税務課、全国軽自動車協会連合会

(注1) 新規登録・販売台数は、乗用車と軽自動車の合計値を元に算出

(注2) 乗用車は、新車新規登録台数の内、小型乗用車と普通乗用車の合計値を元に算出

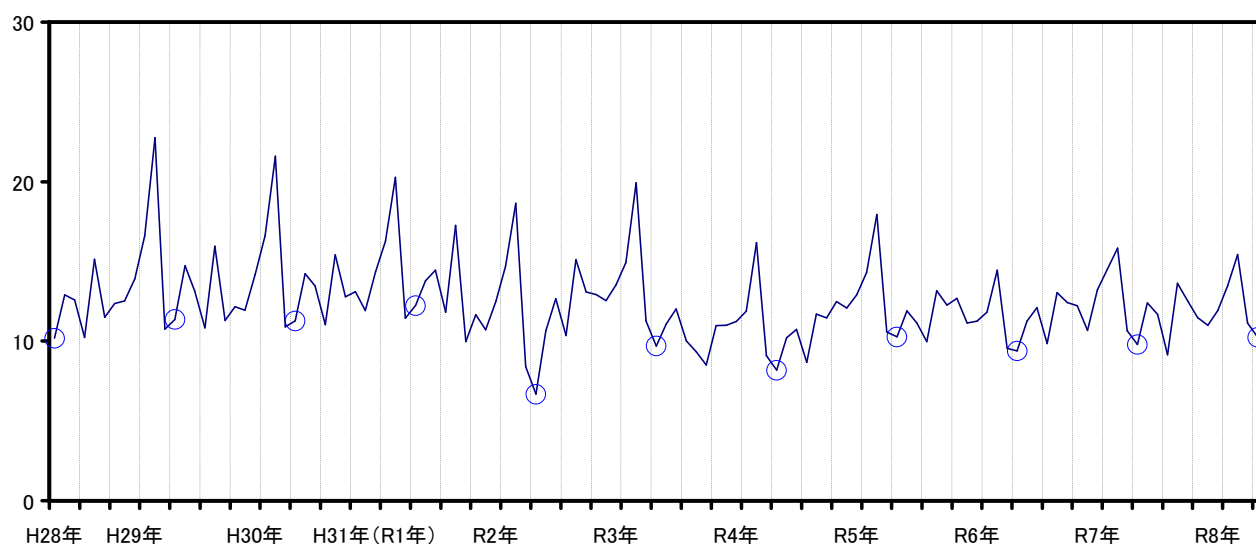
(注3) 軽自動車は、新車新規販売台数の内、乗用車を元に算出

<過去10年間の推移>

自動車新規登録・販売台数(千台)

<資料>県税務課、全国軽自動車協会連合会

○印は5月度



2 新設住宅着工戸数

5 月 = 1,148 戸

* 前年同月比： 2.2%減

<概 況>

5 月の新設住宅着工戸数は1,148戸で、前年同月比 2.2%減と、2 か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 6.2%増）が2 か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家（同 0.7%減）、貸家（同 8.8%減）がいずれも2 か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1月	2月	3月	4月	5月
戸 数 (戸)	1,766	1,327	1,456	1,316	1,261	1,371	1,573	1,148
前 年 同 月 比 (%)	▲ 13.7	▲ 4.9	39.1	▲ 34.0	▲ 8.7	▲ 10.1	11.4	▲ 2.2
うち 持 家 (%)	▲ 1.5	▲ 9.6	17.1	▲ 20.9	▲ 20.2	▲ 1.8	12.3	▲ 0.7
貸 家 (%)	0.3	27.9	153.5	▲ 45.4	30.2	▲ 33.6	41.6	▲ 8.8
分譲住宅 (%)	4.3	▲ 23.8	25.5	▲ 28.8	▲ 31.5	23.5	▲ 15.3	6.2
(参考) 全国前年同月比 (%)	3.2	▲ 8.5	▲ 1.3	▲ 0.4	▲ 4.9	▲ 29.3	11.4	33.9

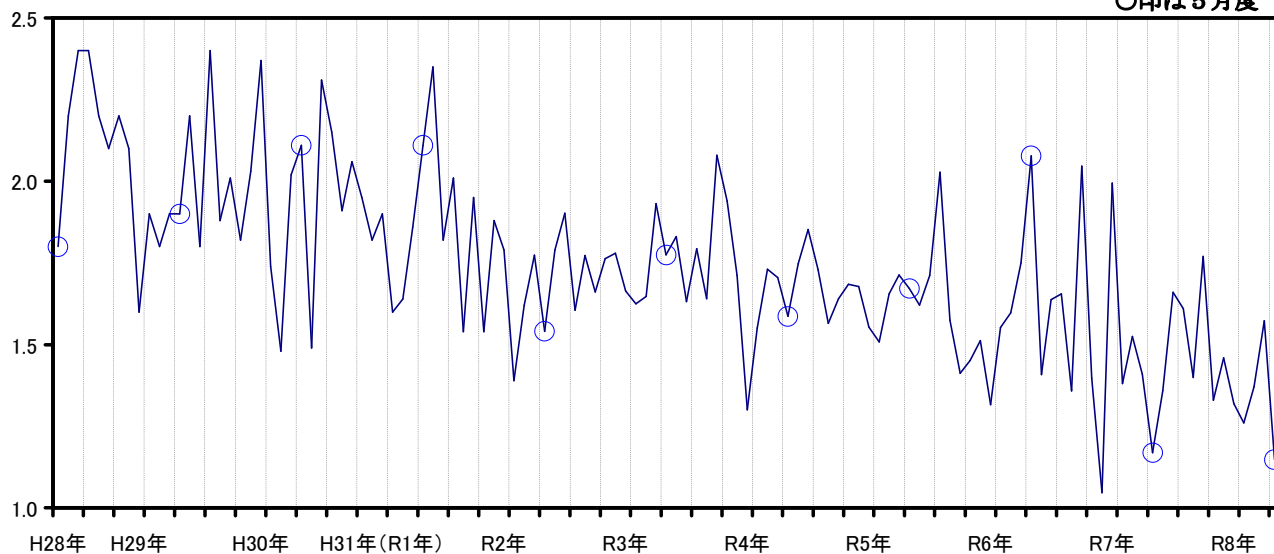
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は5月度



3 設備投資

＜概 況＞

令和7年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

令和8年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 3.3%増）で増加、非製造業（同 2.3%減）で減少し、全産業（同 1.1%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 1.3%増）で増加、非製造業（同 0.2%減）で減少し、全産業（同 1.0%増）では増加する計画となっている。

5月の着工建築物床面積（非居住用）は115,836㎡で、前年同月比 27.0%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

＜企業短期経済観測調査結果＞（前年度比％（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

		R7年度 (計画)	R8年度 (計画)
全産業	県	(▲ 8.0) 13.9	1.1
	全国	(▲ 0.6) 7.9	1.3
製造業	県	(▲12.7) 20.9	3.3
	全国	(▲ 2.6) 9.9	2.6
非製造業	県	(0.3) 4.7	▲ 2.3
	全国	(0.7) 6.8	0.6

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R7年度 (計画)	R8年度 (計画)
全産業	県	(▲ 2.4) 11.5	1.0
	全国	(▲ 1.3) 7.8	2.7
製造業	県	(▲ 2.8) 14.0	1.3
	全国	(▲ 1.2) 7.7	3.1
非製造業	県	(▲ 0.8) 2.0	▲ 0.2
	全国	(▲ 1.3) 8.0	2.3

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

＜資料＞ 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和8年3月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査（令和8年3月調査）」

＜最近の動き＞

	R 7年10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	67,567	50,576	51,895	68,568	49,992	92,180	97,858	115,836
前年同月比（％）	▲ 47.2	▲ 18.7	▲ 4.0	▲ 57.6	▲ 27.9	113.3	12.6	27.0
（参考）全国前年同月比（％）	▲ 8.0	▲ 25.1	▲ 5.9	3.2	▲ 11.0	▲ 12.3	▲ 26.1	▲ 26.2

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

＜資料＞国土交通省

＜参考 県内企業の業況判断D. I. ＞

		R 7年12月	R 8年3月	R 8年6月 (予測)
全 産 業		8	8	1
	製 造 業	▲ 6	▲ 1	▲ 5
	非 製 造 業	20	17	7
(参考) 全国 ・ 全産業		18	18	11

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比％ポイント

＜資料＞ 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和8年3月調査）」

4 公共工事請負金額

5 月 = 47,664百万円

* 前年同月比： 9.4%増

(建設保証会社保証実績)

<概 況>

5月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は47,664百万円で、前年同月比 9.4%増となり、5か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は572件で、前年同月比5.5%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
金 額 （ 百 万 円 ）	19,857	14,761	24,559	10,667	8,504	28,173	54,760	47,664
前 年 同 月 比 （ % ）	▲ 9.2	▲ 18.5	116.0	▲ 30.2	▲ 35.1	▲ 10.6	▲ 16.3	9.4
年度累計前年同月比（%）	14.7	12.5	16.6	14.2	12.2	10.1	▲ 16.3	▲ 6.0
件 数 （ 件 ）	646	465	394	238	138	357	481	572
前 年 同 月 比 （ % ）	▲ 8.6	▲ 8.6	▲ 4.4	▲ 8.8	▲ 28.1	▲ 33.9	8.1	5.5
年度累計前年同月比（%）	▲ 5.1	▲ 5.4	▲ 5.4	▲ 5.5	▲ 6.2	▲ 8.3	8.1	6.7

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
国	69.7	▲ 49.0	66.2	63.3	▲ 28.5	41.2	65.1	7.6
独 立 行 政 法 人 等	10.2	▲ 91.1	7,807.0	▲ 98.3	40.9	310.3	▲ 10.2	▲ 30.5
県	▲ 22.9	▲ 14.5	▲ 15.5	▲ 1.6	▲ 61.3	▲ 48.3	▲ 33.4	40.2
市 町	▲ 14.7	17.0	7.7	▲ 51.2	▲ 28.0	▲ 12.3	▲ 13.3	▲ 17.6
地 方 公 社	▲ 87.0	-	6,848.3	-	-	-	-	6.6
そ の 他	276.8	▲ 69.7	▲ 46.0	▲ 67.9	▲ 54.6	▲ 77.0	▲ 9.9	187.4

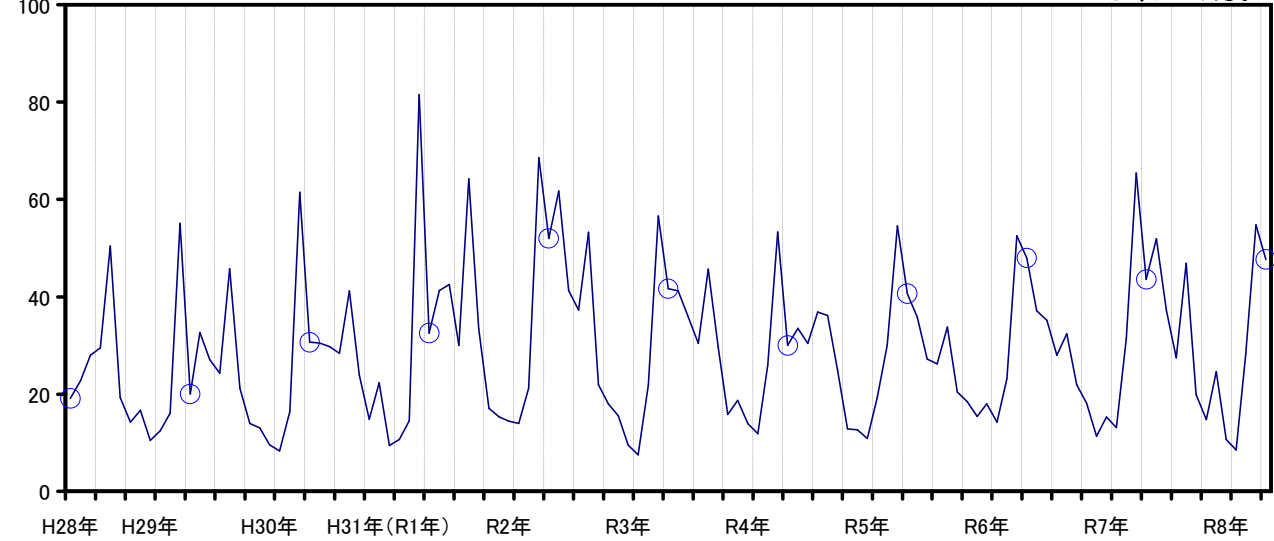
<資料>東日本建設業保証(株) 静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株) 静岡支店

○印は5月度



5 輸出

5 月 = 201,695百万円

* 前年同月比： 10.0%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概 況>

5月の清水税関支署管内の輸出総額は201,695百万円で、前年同月比 10.0%増となり、8か月連続で前年実績を上回った。
 主要な品目別にみると、二輪自動車類（前年同月比3.7%減）が2か月ぶり、原動機（同 1.1%減）が8か月連続、エアコン（同35.3%減）、科学光学機器（同 28.4%減）がいずれも7か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車（同 70.7%増）が5か月連続、自動車の部分品（同 4.2%増）が10か月連続で前年実績を上回った。
 地域別にみると、アジア向け（同 7.4%増）が6か月連続、米国向け（同 9.2%増）が2か月ぶり、EU向け（同 12.7%増）が10か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7年10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月
輸 出 総 額（百 万 円）	230,911	263,762	256,426	204,677	234,891	239,646	250,835	201,695
前 年 同 月 比（%）	8.7	28.2	5.9	24.8	6.9	9.8	12.8	10.0
（参考）全国前年同月比（%）	3.6	6.1	5.1	16.8	4.2	11.7	14.8	17.0

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 7年10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月
原 動 機	▲ 13.0	▲ 14.9	▲ 4.3	▲ 19.5	▲ 19.8	▲ 7.6	▲ 6.0	▲ 1.1
エ ア コ ン	20.3	▲ 11.8	▲ 40.8	▲ 6.0	▲ 34.6	▲ 53.7	▲ 10.7	▲ 35.3
自 動 車	15.3	▲ 17.9	▲ 7.5	65.7	15.5	74.6	17.7	70.7
自 動 車 の 部 分 品	31.2	48.0	47.8	41.6	26.8	32.2	26.0	4.2
二 輪 自 動 車 類	24.2	13.5	9.3	99.9	11.0	▲ 2.7	1.4	▲ 3.7
科 学 光 学 機 器	11.4	▲ 21.5	▲ 9.9	▲ 15.6	▲ 37.8	▲ 29.3	▲ 30.2	▲ 28.4

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 7年10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月
ア ジ ア	9.7	▲ 3.7	19.6	20.8	5.7	18.0	17.4	7.4
米 国	▲ 6.3	100.4	▲ 9.5	17.6	▲ 13.0	▲ 4.5	2.5	9.2
E U	38.2	26.9	1.3	53.2	13.5	7.4	19.6	12.7

<資料>清水税関支署

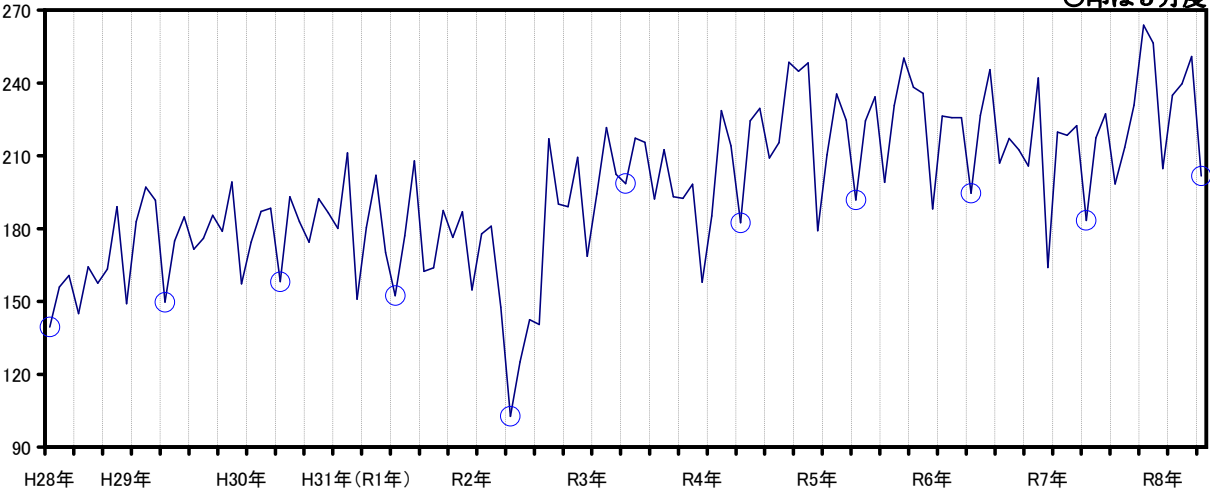
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
 なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は5月度



6 輸入

5 月 = 125,214百万円

* 前年同月比： 6.4%減

(清水税関支署管内通関実績)

＜概 況＞

5月の清水税関支署管内の輸入総額は125,214百万円で、前年同月比 6.4%減となり、4か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 24.2%増）が2か月ぶり、魚介類及び同調製品（同 12.9%増）が6か月連続で前年実績を上回ったものの、紙類及び同製品（同 15.2%減）が2か月ぶり、自動車の部分品（同 10.2%減）が4か月ぶり、木材（同 32.2%減）が2か月連続、パルプ（同 21.4%減）が9か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（同 0.4%減）、米国から（同 16.7%減）がいずれも2か月ぶり、EUから（同 13.3%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

＜最近の動き＞

	R 7年10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月
輸入総額（百万円）	122,461	112,571	127,008	137,578	125,104	117,328	145,606	125,214
前年同月比（%）	8.0	7.3	5.4	▲ 1.7	24.0	0.1	20.6	▲ 6.4
（参考）全国前年同月比（%）	0.7	1.3	5.3	▲ 2.5	10.2	10.9	9.7	12.5

＜主要品目別前年同月比の推移＞

(単位: %)

	R 7年10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月
魚介類及び同調製品	10.7	▲ 3.1	21.8	5.1	79.2	8.8	20.6	12.9
木材	17.4	▲ 12.7	21.9	78.2	24.6	2.6	▲ 6.9	▲ 32.2
パルプ	▲ 8.3	▲ 21.2	▲ 25.4	▲ 4.3	▲ 33.1	▲ 12.8	▲ 4.9	▲ 21.4
紙類及び同製品	▲ 2.6	▲ 28.3	▲ 17.6	▲ 7.5	23.7	▲ 13.3	8.9	▲ 15.2
原動機	▲ 30.3	20.8	12.1	▲ 11.9	29.3	16.1	▲ 30.8	24.2
自動車の部分品	36.9	9.7	21.8	▲ 1.5	46.8	30.8	0.4	▲ 10.2

＜資料＞清水税関支署

＜地域別前年同月比の推移＞

(単位: %)

	R 7年10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月
アジア	16.7	20.7	23.3	▲ 7.0	43.9	▲ 9.0	20.2	▲ 0.4
米国	12.9	20.6	▲ 9.9	▲ 33.7	▲ 9.5	▲ 9.7	30.7	▲ 16.7
EU	18.1	▲ 18.5	▲ 9.3	3.5	49.9	27.8	▲ 4.1	▲ 13.3

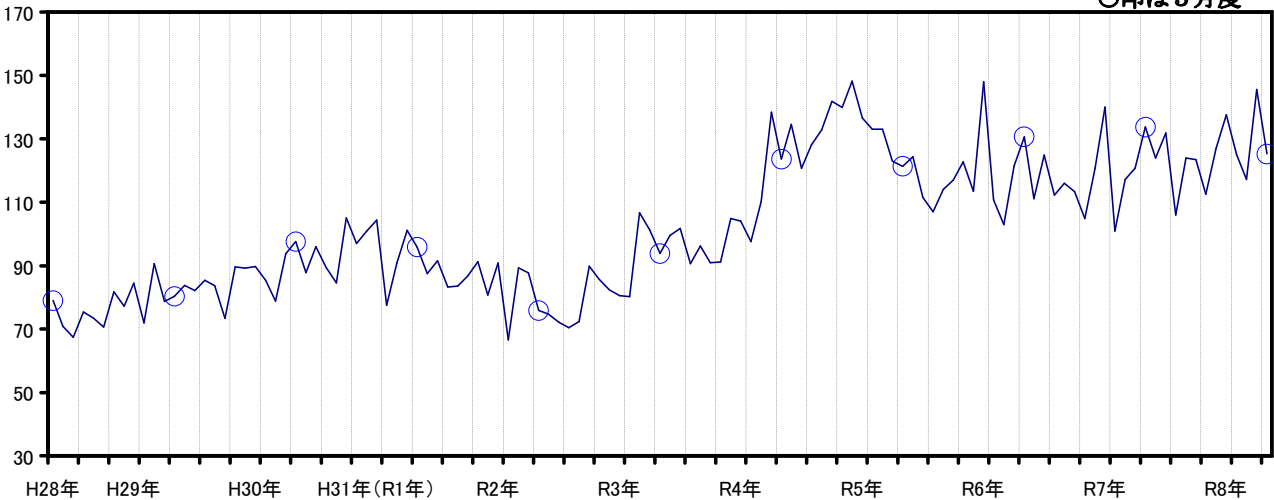
＜資料＞清水税関支署

＜過去10年間の推移＞

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

＜資料＞清水税関支署

○印は5月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

5 月 = 104.0

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 5.3%増

*前年同月比(原指数) : 0.0%

<概況>

5月の鉱工業生産指数(総合)は104.0(季節調整済指数)で、前月比は5.3%増と、2か月連続で増加した。また、前年同月比(原指数)は前年と同水準であった。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比9.4%減)、電気機械(同6.1%減)がいずれも2か月ぶり、輸送機械(同1.9%減)が2か月連続で前年水準を下回ったものの、化学(同5.5%増)が4か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同0.9%増)、食料品・たばこ(同15.4%増)がいずれも2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R7年10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月	4月	5月
指数	97.1	95.1	91.6	100.7	99.5	98.3	98.8	104.0
前月比(%)	2.3	▲2.1	▲3.7	9.9	▲1.2	▲1.2	0.5	5.3
前年同月比(%)	2.0	▲4.3	0.9	▲0.6	1.6	7.0	5.9	0.0
(参考)全国前年同月比(%)	0.1	▲4.2	0.9	0.7	0.4	2.4	2.0	▲2.1

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月	4月	5月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲15.9	4.9	▲6.8	▲3.3	11.9	▲6.3	16.2	▲9.4
電気機械工業	10.7	▲9.3	▲0.6	▲5.6	▲2.6	▲0.7	0.0	▲6.1
輸送機械工業	4.0	▲1.8	6.0	7.3	2.2	15.6	▲1.3	▲1.9
化学工業	1.9	▲8.7	▲2.2	▲8.2	5.4	29.0	24.4	5.5
パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.6	▲2.9	3.9	▲5.3	▲2.0	▲2.0	2.2	0.9
食料品・たばこ工業	1.2	▲3.2	8.4	3.2	▲0.6	▲3.8	11.1	15.4

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

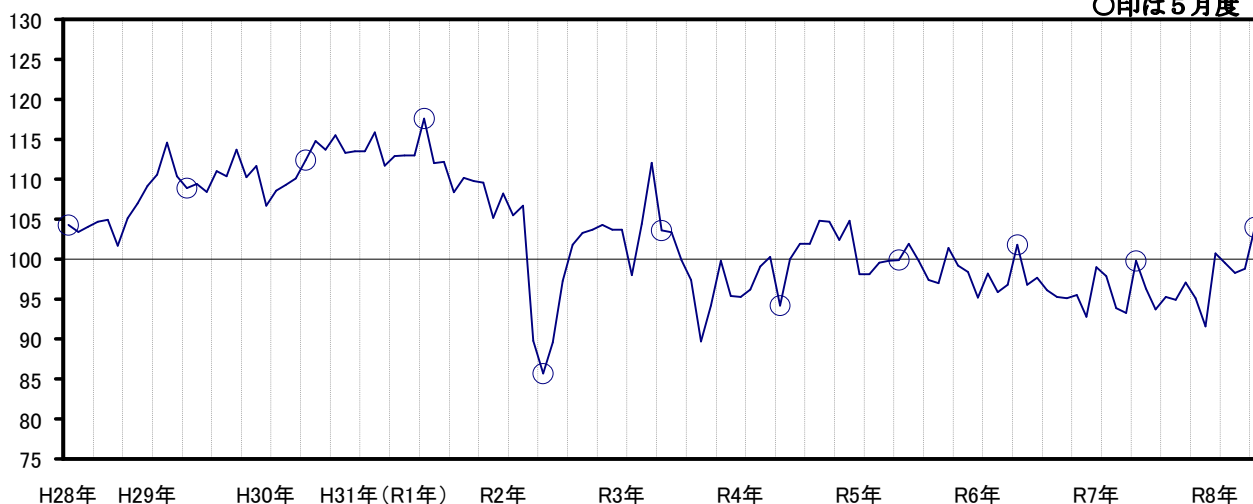
<資料>県統計活用課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計活用課

○印は5月度



(2) 鋳工業在庫指数

5 月 = 102.8

* 前月比 (季節調整済指数) : 0.5% 減

* 前年同月比 (原指数) : 0.0%

(令和 2 年 = 100、鋳工業総合、季節調整済指数)

<概 況>

5 月の鋳工業在庫指数 (総合) は 102.8 (季節調整済指数) で、前月比は 0.5% 減と、2 か月連続で減少した。また、前年同月比 (原指数) は前年と同水準であった。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み上がり局面 (景気後退初期)」に該当する。

業種別にみると、電気機械 (前年同月比 1.8% 減) が 5 か月連続、化学 (前年同月比 1.4% 減) が 2 か月連続、パルプ・紙・紙加工品 (同 7.4% 減) が 3 か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械 (同 4.8% 増) が 7 か月連続、輸送機械 (同 7.1% 増) が 6 か月連続、食料品・たばこ (同 2.1% 増) が 2 か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1月	2月	3月	4月	5月
指 数	104.5	105.8	102.5	104.1	106.3	108.0	103.3	102.8
前 月 比 (%)	▲ 1.3	1.2	▲ 3.1	1.6	2.1	1.6	▲ 4.4	▲ 0.5
前 年 同 月 比 (%)	0.2	1.5	3.8	2.8	3.0	2.3	0.3	0.0
(参考) 全国前年同月比 (%)	▲ 1.9	▲ 4.1	▲ 2.8	▲ 4.3	▲ 3.4	▲ 5.3	▲ 5.0	▲ 5.0

(注) 令和 2 年 = 100、鋳工業総合、指数: 季節調整済、前年同月比: 原指数

<資料> 県統計活用課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1月	2月	3月	4月	5月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 0.4	5.2	6.3	12.3	15.0	8.9	11.0	4.8
電 気 機 械 工 業	1.1	▲ 1.3	0.5	▲ 5.7	▲ 8.0	▲ 4.7	▲ 3.2	▲ 1.8
輸 送 機 械 工 業	▲ 4.7	▲ 3.6	18.5	10.0	9.4	12.9	2.8	7.1
化 学 工 業	11.5	7.2	5.9	2.7	▲ 0.9	1.8	▲ 0.4	▲ 1.4
パ ル プ・紙・紙加工品工業	0.3	3.7	6.9	4.4	6.3	▲ 6.7	▲ 9.9	▲ 7.4
食 料 品・たばこ工業	▲ 8.8	▲ 4.3	▲ 8.3	▲ 4.1	0.2	0.0	1.0	2.1

(注) 令和 2 年 = 100、鋳工業総合、前年同月比: 原指数

<資料> 県統計活用課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数 (総合、令和 2 年 = 100)

<資料> 県統計活用課

○印は5月度

16

雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

5 月 = 1.09倍

*前月比（季節調整値）： 0.03ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

5月の有効求人倍率（受理地別、季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.09倍となり、前月を0.03ポイント上回った。64か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.08ポイント下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 0.5%増）は2か月ぶりに前年実績を上回った。

産業別にみると、製造業（前年同月比 4.6%減）が2か月ぶり、医療・福祉（同 1.4%減）が3か月ぶり、建設業（同 2.6%減）が11か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同 1.4%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、運輸業・郵便業（同 0.9%増）が10か月ぶり、卸売業・小売業（同 42.1%増）が2か月ぶり、情報通信業（同 19.6%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
県（受理地別）	1.07	1.07	1.09	1.06	1.06	1.08	1.06	1.09
（参考）県（就業地別）	1.19	1.19	1.20	1.19	1.19	1.20	1.19	1.20
全 国	1.19	1.19	1.20	1.18	1.19	1.18	1.18	1.17

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
建 設 業	▲ 8.5	▲ 2.4	▲ 14.7	▲ 6.5	▲ 10.3	▲ 7.8	▲ 5.2	▲ 2.6
製 造 業	▲ 18.4	▲ 14.5	5.4	0.8	▲ 12.8	▲ 0.8	10.9	▲ 4.6
情 報 通 信 業	▲ 24.2	3.9	▲ 3.3	▲ 22.2	27.1	▲ 13.3	42.8	19.6
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 13.5	▲ 15.7	▲ 17.6	▲ 7.8	▲ 9.2	▲ 4.4	▲ 20.2	0.9
卸 売 業 ・ 小 売 業	10.2	▲ 24.5	118.9	▲ 5.2	▲ 29.7	144.3	▲ 43.1	42.1
医 療 ・ 福 祉	3.5	▲ 11.1	1.6	▲ 0.2	▲ 5.2	0.3	6.2	▲ 1.4
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 1.4	4.1	▲ 0.8	▲ 7.7	▲ 2.6	22.4	▲ 2.5	▲ 1.4
合 計	▲ 0.5	▲ 9.6	3.8	▲ 4.1	▲ 10.3	11.7	▲ 8.6	0.5

（注）学卒、パートタイムを除く

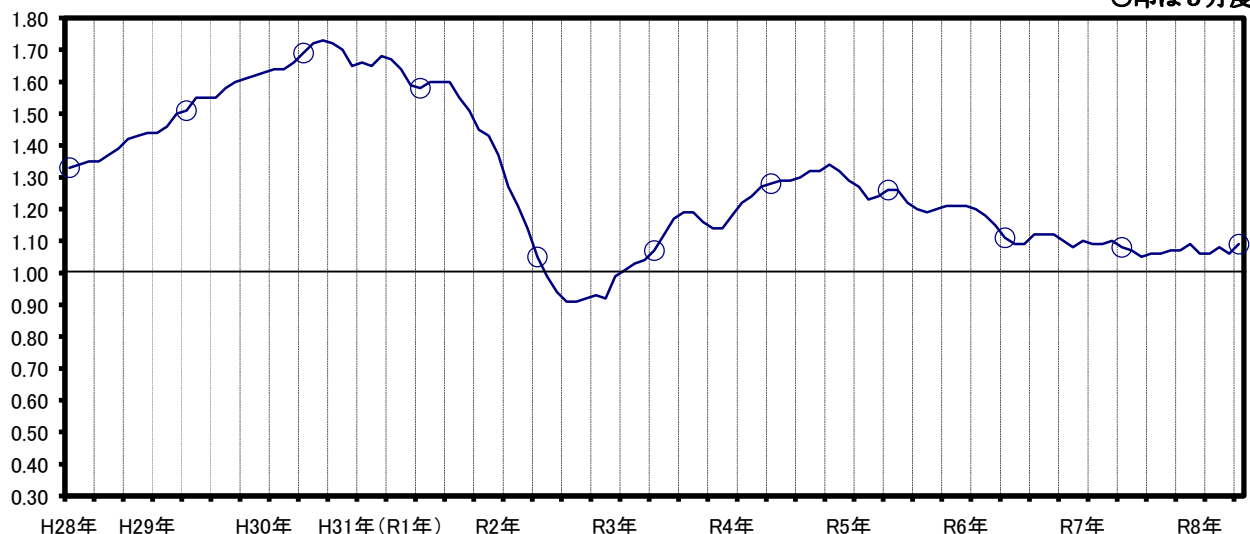
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省

○印は5月度



(2) 雇用保険受給者実人員

5 月 = 12,674人

*前 月 比: 3.3%増

*前年同月比: 5.1%増

<概 況>

5月の雇用保険受給者実人員は12,674人で、前月比は3.3%増と2か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は5.1%増と12か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.5%と前月と同水準であった。

静岡県(令和8年1~3月)の完全失業率は2.5%で、前期(令和7年10~12月)から0.3ポイント上昇した。

<最近の動き>

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
実 人 員 (人)	14,620	13,482	13,497	12,833	11,991	12,636	12,271	12,674
前 月 比 (%)	▲ 2.4	▲ 7.8	0.1	▲ 4.9	▲ 6.6	5.4	▲ 2.9	3.3
前 年 同 月 比 (%)	11.2	9.6	9.9	6.7	4.1	12.7	9.4	5.1
(参考) 全国前年同月比 (%)	11.8	9.3	11.4	6.5	5.8	16.1	11.6	6.1

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
完全失業率(全国) (%)	2.6	2.6	2.6	2.7	2.6	2.7	2.5	2.5

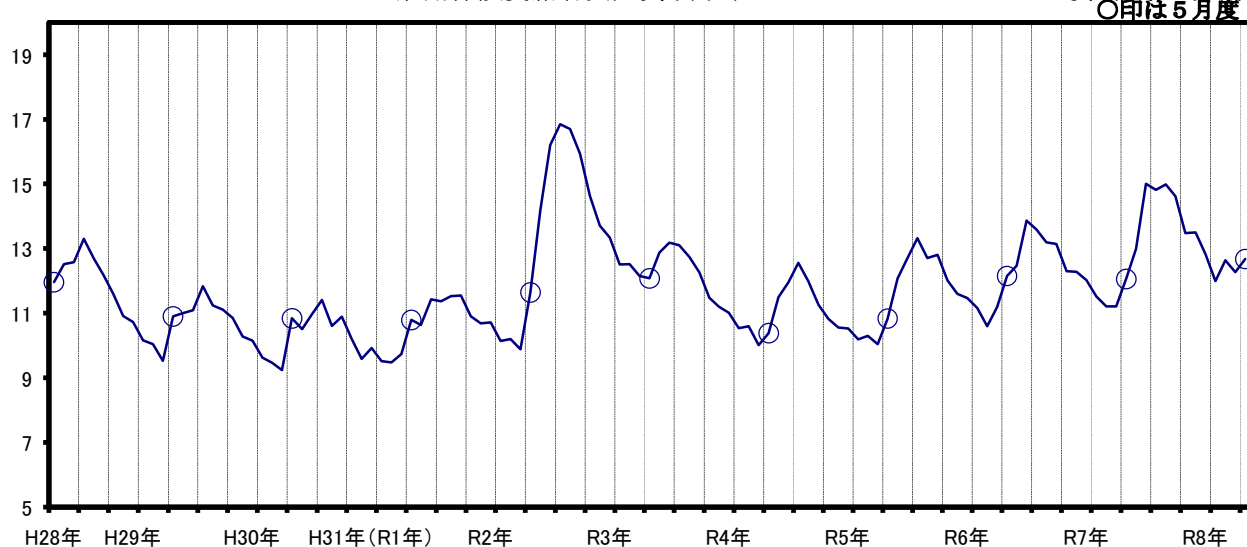
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

4 月 = 116.2

* 前月比(季節調整済指数): 2.8%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) * 前年同月比(原指数) : 3.8%減

<概況>

4月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は116.2(季節調整済指数)で、前月比は2.8%減と3か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は3.8%減と2か月ぶりに前年実績を下回った。

業種別にみると、卸売業・小売業(前年同月比17.5%増)が2か月ぶり、製造業(同1.5%増)が2か月連続、情報通信業(同12.4%増)が9か月連続、医療・福祉(同23.4%増)が4か月連続で前年実績を上回ったものの、その他のサービス業(同4.6%減)が2か月ぶり、建設業(同27.2%減)が17か月連続、運輸業・郵便業(同6.6%減)が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月	4月
指数	123.6	124.9	123.9	121.7	115.1	116.0	119.5	116.2
前月比(%)	7.8	1.1	▲0.8	▲1.8	▲5.4	0.8	3.0	▲2.8
前年同月比(%)	▲0.8	4.7	▲4.3	0.0	0.0	▲4.0	0.0	▲3.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.8	▲0.9	▲2.4	▲0.8	1.8	0.0	1.6	1.7

* 令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月	4月
建設業	▲42.6	▲17.9	▲29.4	▲25.3	▲38.8	▲24.5	▲48.9	▲27.2
製造業	▲8.1	▲7.9	▲1.9	▲9.2	▲6.9	▲2.1	3.7	1.5
情報通信業	32.7	11.6	58.0	49.2	35.2	176.3	6.4	12.4
運輸業・郵便業	2.6	12.5	12.0	30.5	11.7	▲12.7	▲4.9	▲6.6
卸売業・小売業	▲3.1	5.8	10.9	17.2	▲16.7	8.8	▲20.3	17.5
医療・福祉	27.4	▲11.7	▲8.4	▲9.8	33.8	28.6	21.6	23.4
その他のサービス業	2.1	▲3.8	▲17.4	▲6.6	1.4	▲11.4	4.5	▲4.6
調査産業計	▲0.8	4.7	▲4.3	0.0	0.0	▲4.0	0.0	▲3.8

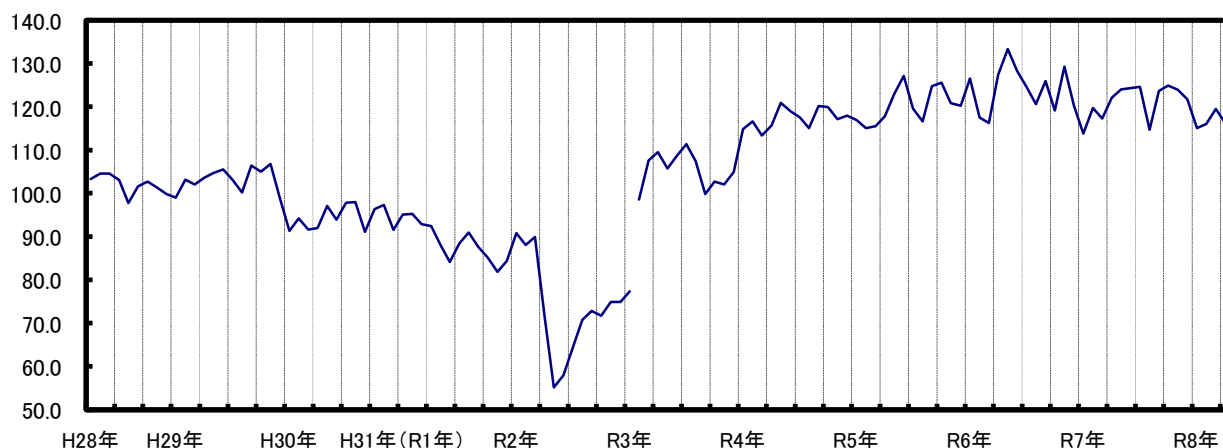
* 令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

(令和2年=100)

6 月 = 135.4

*前 月 比: 0.4%上昇

*前年同月比: 7.1%上昇

<概 況>

6月の国内企業物価指数は135.4となり、前月比は0.4%の上昇となった。また、前年同月比は7.1%の上昇となった。

	R 7 年11月	12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
国内企業物価指数	128.0	128.1	128.5	128.5	129.8	133.4	134.9	135.4
前 月 比 (%)	0.3	0.1	0.3	0.0	1.0	2.8	1.1	0.4
前年同月比 (%)	2.7	2.4	2.4	2.1	2.9	5.4	6.6	7.1

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

5 月 = 147,407億円

*前 月 比: 0.4%増

*前年同月比: 1.5%増

<概 況>

5月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は147,407億円で、前月比とは0.4%の増加となった。また、前年同月比は1.5%の増加となった。

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
貸出残高(億円)	145,328	145,910	146,916	147,146	147,051	147,844	146,773	147,407
前 月 比 (%)	▲ 0.2	0.4	0.7	0.2	▲ 0.1	0.5	▲ 0.7	0.4
前年同月比 (%)	1.9	1.7	1.9	2.4	2.4	2.7	2.4	1.5

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

5 月 = 1.686%

*前 月 差: 0.003ポイント増

*前年同月差: 0.201ポイント増

<概 況>

5月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.686%で、前月から0.003ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.201ポイントのプラスとなった。

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
貸出約定金利(%)	1.543	1.541	1.567	1.585	1.627	1.675	1.683	1.686
前月差(ポイント)	0.000	▲ 0.002	0.026	0.018	0.042	0.048	0.008	0.003
前年同月差(ポイント)	0.222	0.217	0.200	0.201	0.229	0.240	0.200	0.201

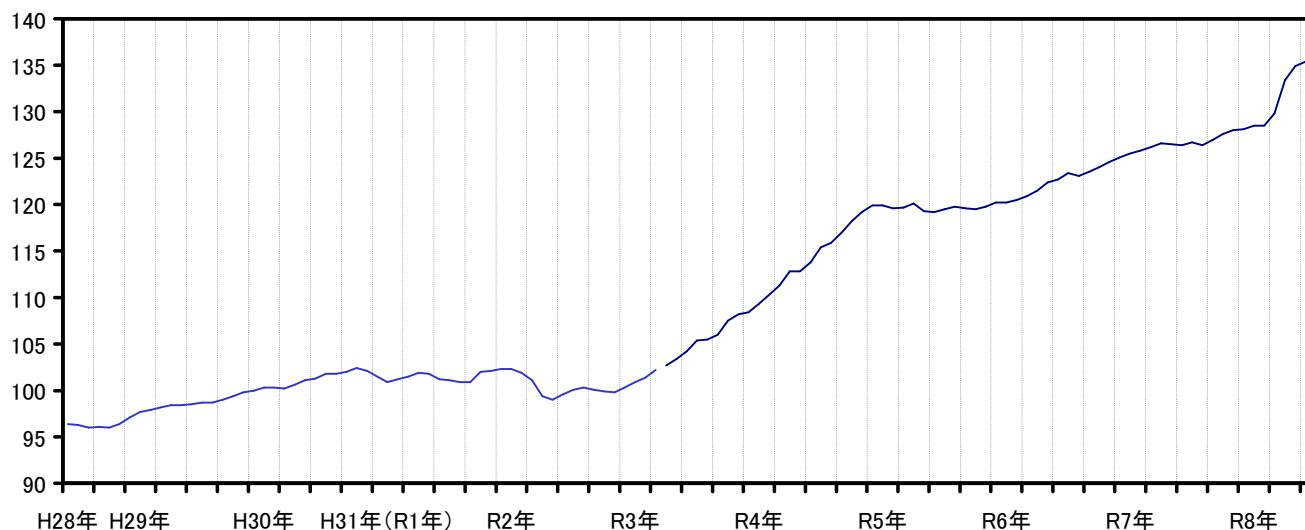
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

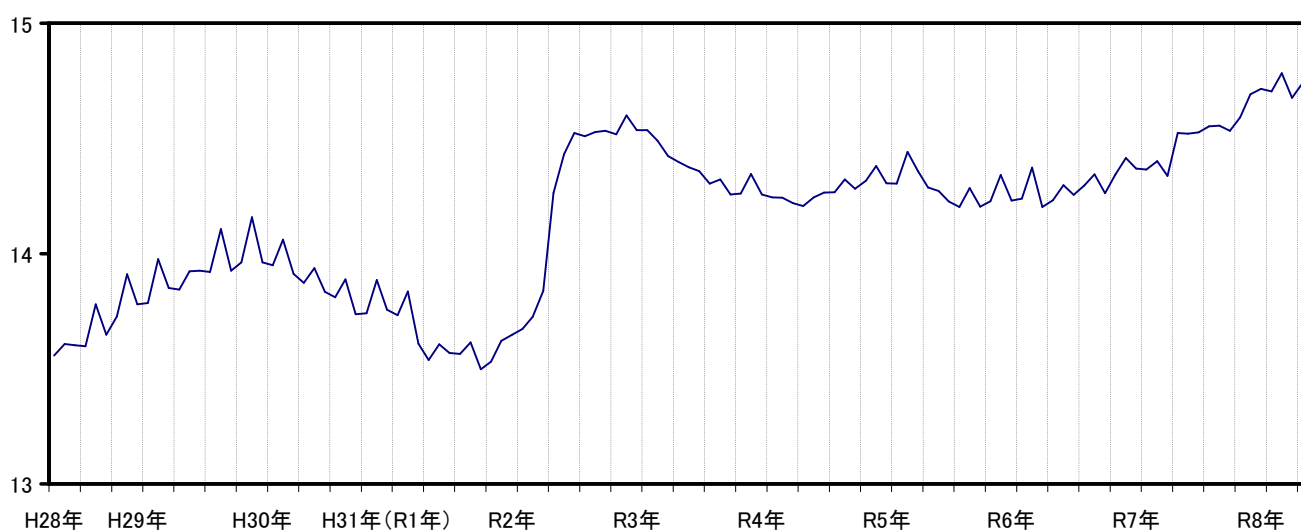
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



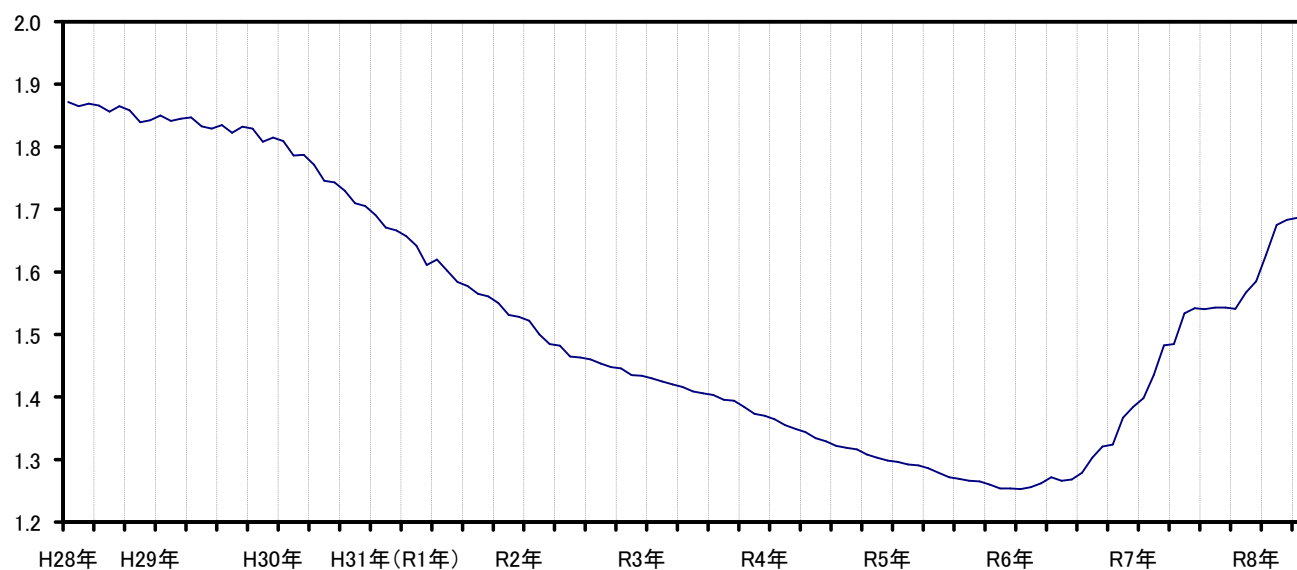
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額

5 月 = 17,676百万円

*前年同月比： 46.4%減

<概 況>

5 月の保証承諾は、金額は17,676百万円（前年同月比 46.4%減）と前年を下回り、件数は1,497件（同 26.3%減）と前年実績を下回った。

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
保 証 金 額（百 万 円）	16,213	16,907	20,988	14,036	17,393	27,430	13,375	17,676
前 年 同 月 比（%）	27.6	15.9	21.9	19.0	36.9	▲ 3.8	▲ 52.7	▲ 46.4
保 証 件 数（ 件 ）	1,536	1,411	1,809	1,317	1,504	2,216	1,273	1,497
前 年 同 月 比（%）	18.5	2.8	25.3	10.7	18.4	1.5	▲ 29.7	▲ 26.3

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場

6 月 = 160.71円/ドル

*前 月 差： 2.37円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 16.21円安

<概 況>

6 月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は160.71円で、前月と比べて2.37円の円安となり、2 か月ぶりに円安となった。

<最近の動き>

▲…円高

	R 7 年11月	12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
平 均 相 場（ 円 ）	155.12	155.88	156.71	155.07	158.64	159.28	158.34	160.71
前 月 差（ 円 ）	3.84	0.76	0.83	▲ 1.64	3.57	0.64	▲ 0.94	2.37
前 年 同 月 差（ 円 ）	1.40	2.16	0.22	3.11	9.46	14.89	13.59	16.21

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営

企業倒産件数

5 月 = 15件

*前年同月比： 11.8%減

<概 況>

5 月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は15件（前年同月比 11.8%減）と前年実績を下回り、負債総額は 4,405百万円（同 166.5%増）と前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が12件と全体の80.0%を占め、37か月連続で50%以上となっている。

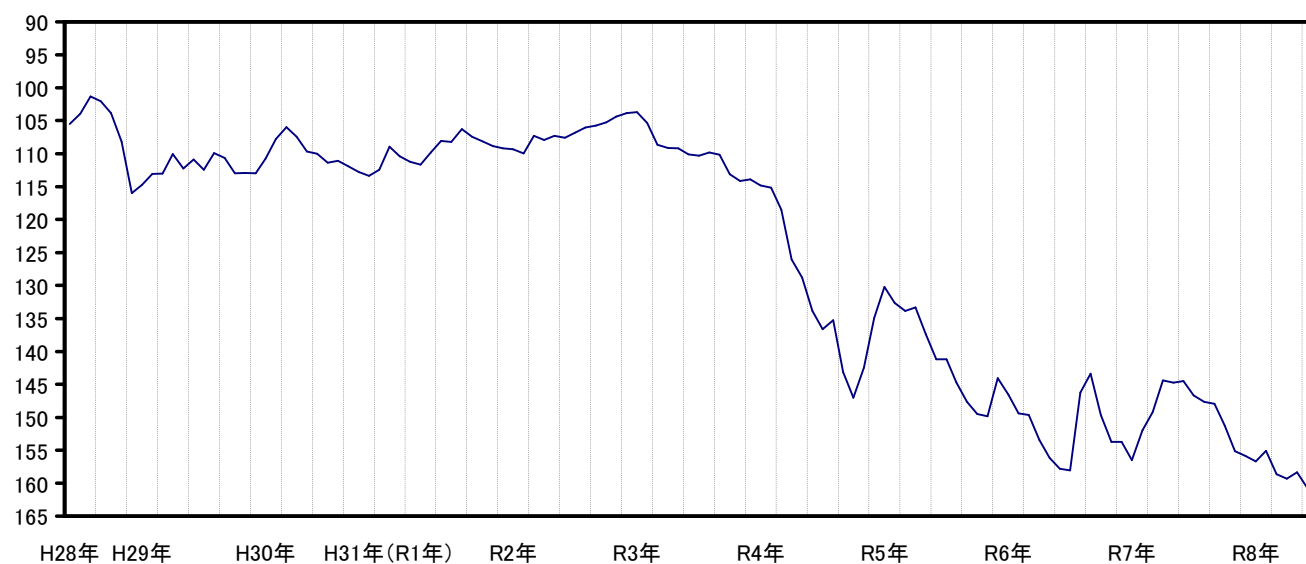
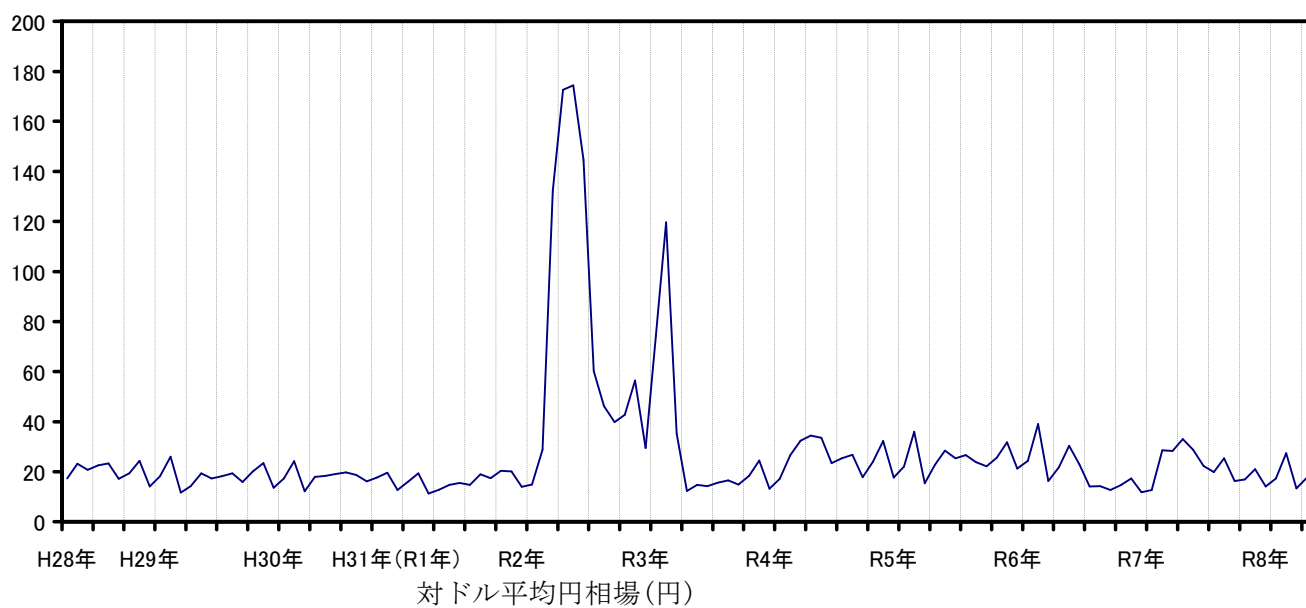
	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
倒 産 件 数（ 件 ）	15	18	27	16	17	21	19	15
前 年 同 月 比（%）	▲ 48.3	38.5	58.8	▲ 15.8	▲ 5.6	▲ 19.2	35.7	▲ 11.8
うち不況型倒産件数(件)	11	17	20	16	16	20	15	12
負 債 総 額（ 百 万 円 ）	1,693	3,149	3,196	1,710	1,895	2,657	3,871	4,405
前 年 同 月 比（%）	▲ 60.2	132.6	108.9	▲ 15.0	22.7	▲ 37.1	142.7	166.5

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

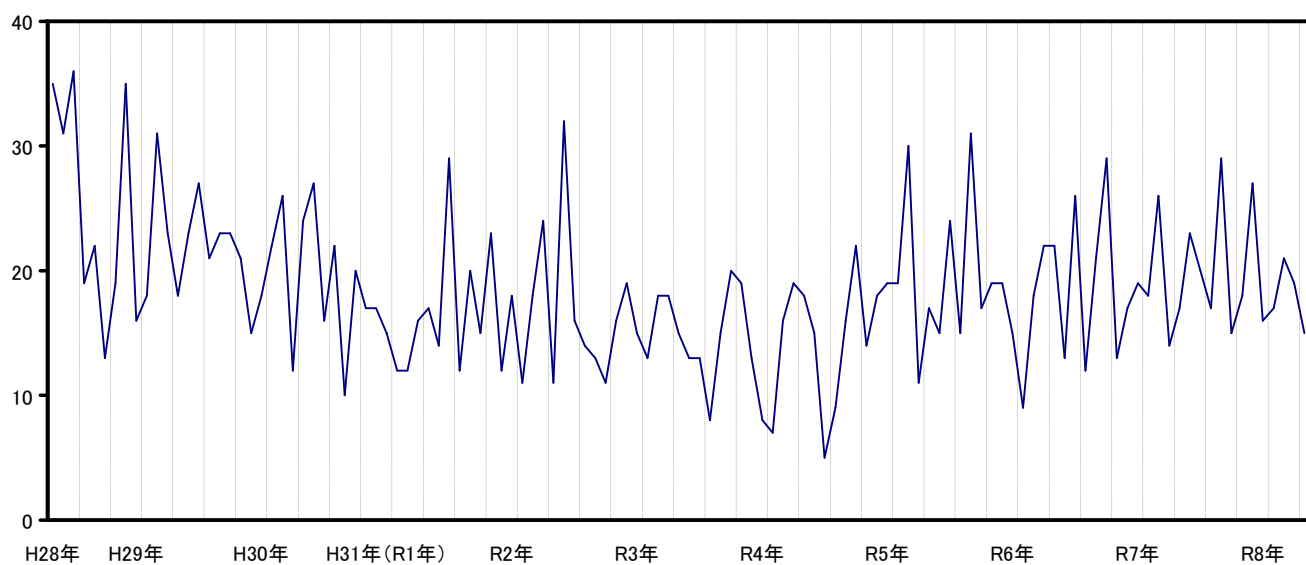
信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和８年５月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	令和８年４月の国内二輪車生産台数は、44,288台（前年同月比21.0％減）で、前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、3,214台（同 74.9％減）で、前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,043台（同 80.1％増）で、前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、4,351台（同12.8％増）で前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、33,680台（同10.7％減）で、前年実績を下回った。 出荷台数は、国内向けは、22,044台（同25.9％減）で、前年実績を下回った。輸出向けは、42,562台（同7.4％減）で、前年実績を下回った。 ＜資料＞日本自動車工業会
自 動 車	令和８年４月の自動車国内生産台数は、686,861台（前年同月比 2.7％増）と、３か月連続で前年実績を上回った。輸出は346,371台（同 2.1％減）と、２か月連続で前年実績を下回った。 国内生産は、乗用車が２か月連続、トラックが８か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも３か月連続で前年実績を上回った。 ＜資料＞日本自動車工業会
電気機械	５月の冷蔵庫の国内出荷額は269億円（前年同月比2.3％増）で、２か月連続で前年実績を上回った。国内出荷台数は241千台（同5.3％増）で、９か月連続で前年実績を上回った。 ５月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,300千台（同24.3％増）で、９か月連続で前年実績を上回った。業務用は72千台（同4.3％増）で、２か月連続で前年実績を上回った。 ５月の携帯電話の国内出荷台数は、153千台（同55.3％減）で、３か月連続で前年度実績を下回った。うち、スマートフォンは、112千台（同62.4％減）で、７か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は 73.0％であった。 ＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J
生産用機械	５月の工作機械の受注総額は、1,770億600万円（前年同月比37.5％増）で、11か月連続で前年実績を上回った。 内訳をみると、外需は1,316億7,700万円（同37.6％増）で、20か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが750億3,200万円（同66.1％増）で、９か月連続で前年実績を上回った。内需は453億2,900万円（同37.3％増）で、５か月連続で前年実績を上回った。 ＜資料＞日本工作機械工業会

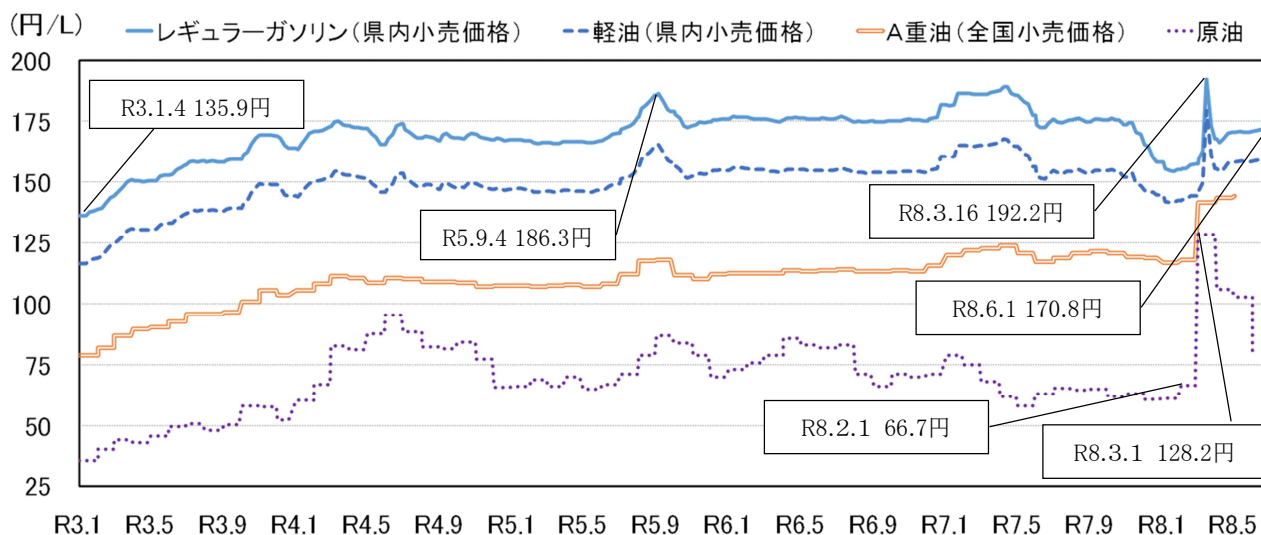
業 種	産 業 動 向
楽 器	5月の県内楽器メーカーの販売金額は、54億450万円（前年同月比4.5%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが30億8,109万円（同12.7%減）、国内向けが23億2,340万円（同9.2%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。 ピアノ生産台数は1,780台（同7.1%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,030台（同2.7%減）、グランドピアノが750台（同12.6%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,224台（同8.3%減）で、3か月連続で前年実績を下回り、国内向けが754台（同1.8%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。 ＜資料＞静岡県楽器製造協会
紙	5月の紙・板紙の国内出荷高は、1,488千トン（前年同月比 5.1%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は673千トン（同 6.2%減）で、19か月連続で前年実績を下回った。板紙は815千トン（同4.2%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。 品種別では、主力の印刷・情報用紙が、328千トン（同10.3%減）で、19か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、147千トン（同0.5%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。 ＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」
缶詰・飲料	5月の県内生産量は、食缶類（国内向け）が953千箱（前年同月比3.1%増）で3か月連続で前年実績を上回った。 分類別でみると、水産缶（国内向け）が727千箱（同6.7%増）で3か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は487千箱（同7.4%増）で、6か月連続で前年実績を上回った。 農畜産缶（国内向け）は226千箱（同6.7%減）で2か月連続で前年実績を下回った。 飲料缶類（国内向け）は、7,237千箱（同8.2%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。 ＜資料＞静岡缶詰協会
織 維	5月の広幅織物の県内生産は、496千㎡（前年同月比 20.1%減）で、19か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、468千㎡（同19.8%減）で、19か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、28千㎡（同25.3%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。 小幅織物の県内生産は、15千㎡（同5.2%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合
家 具	5月の全国百貨店での家具販売額は、37億968万円（前年同月比4.3%増）と2か月ぶりに前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、605億2,206万円（同0.2%減）と9ヶ月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会

業 種	産 業 動 向
小 売 業	5月の県内百貨店・スーパーの販売額は、44,703百万円（既存店前年同月比1.1%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、衣料品、身の回り品、家庭用品及び食堂・喫茶で前年同月の実績を下回ったが、飲食料品及びその他の商品の売上げが前年同月と比較して増加した。 中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。特に、雑貨、家庭用品の売上げが好調だった。 西部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。セール実施日や平日に来客数が増えていることに加え、多くのテナントの業績が好調だったことが影響した。 県内の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げが増加したが、来客数は減少した。物価高騰の影響により、客単価が高くなり、売上げが増加した。 中部の総合スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が減少した。近隣の大型ショッピングモール開店やドラッグストアの影響により、来客数が減少した。また、地域のイベントは売上げに良い影響があった。 ＜資料＞ 関東経済産業局、静岡県地域産業課
観 光	令和8年4月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約52万人で、前年同月比1.9%減となった。 中東情勢に伴う旅行需要への影響が一部で見られたものの、全体としては概ね前年並みとなった。 主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約58万台となり、前年同月比0.2%減となった。 ＜資料＞ 静岡県観光政策課

＜原油高の状況について＞

中東情勢の不安定化（令和8年2月末～）により、原油価格が高騰した。

これにより、レギュラーガソリンの県内小売価格は、令和8年3月16日に192.2円/Lとなった。令和8年3月19日出荷分から実施された「イラン情勢を踏まえた緊急的激変緩和措置」により、足もとの県内ガソリン小売価格は、170.8円/Lに推移している。



Ⅳ データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
完成車生産台数（台）	22,850	25,794	26,857	26,953	27,483	22,857	22,292	22,051	17,022
前年同月比（%）	▲ 2.8	▲ 6.5	▲ 8.0	34.7	22.8	▲ 7.1	▲ 12.8	▲ 4.0	▲ 24.4
KD輸出額（百万円）	1,693	1,596	1,973	2,152	2,257	2,581	2,588	2,139	1,181
前年同月比（%）	180.3	117.9	193.6	22.1	▲ 2.3	8.6	10.5	▲ 6.0	▲ 39.8

<楽 器>

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
生産総額（百万円）	3,530	3,768	3,011	3,258	3,622	3,496	4,097	4,146	3,508
前年同月比（%）	19.3	10.7	▲ 2.6	14.3	33.0	27.2	41.5	11.0	5.1

<缶 詰>

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
食缶生産高（千箱）	967	1,007	925	936	912	860	964	1,029	953
前年同月比（%）	0.2	▲ 4.7	▲ 10.3	▲ 3.3	▲ 0.3	▲ 1.9	7.6	6.6	3.1
うち水産缶詰（%）	1.1	▲ 0.4	▲ 6.5	2.2	3.3	▲ 0.2	5.6	14.3	6.7
農畜産缶詰（%）	▲ 2.7	▲ 16.5	▲ 20.8	▲ 17.7	▲ 11.3	▲ 6.5	14.3	▲ 15.0	▲ 6.7
飲料缶生産高（千箱）	6,504	7,735	6,857	6,365	5,581	5,611	7,948	7,415	7,237
前年同月比（%）	0.9	13.7	0.3	8.6	17.9	2.3	17.3	13.8	8.2

<織 維>

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
広幅織物（千㎡）	678	816	951	808	787	707	718	682	496
前年同月比（%）	▲ 16.9	▲ 8.5	▲ 2.5	▲ 9.7	▲ 10.7	▲ 15.8	▲ 16.5	▲ 11.6	▲ 20.1
小幅織物（千㎡）	16	15	15	18	15	15	16	15	15
前年同月比（%）	▲ 2.3	▲ 5.5	▲ 7.8	▲ 11.1	1.4	▲ 3.1	▲ 3.3	▲ 10.7	▲ 5.2

<観 光>

	R 7 年 8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
延べ宿泊者数 （千人泊）	2,528	1,727	1,882	2,035	1,943	1,575	16,105	20,775	1,697
前年同月比（%）	▲ 2.1	▲ 4.5	▲ 0.3	0.1	▲ 3.6	▲ 2.9	▲ 2.2	1.5	▲ 2.1
観光施設(10施設)入込 （千人）	444	309	450	560	395	378	309	502	515
前年同月比（%）	14.0	▲ 0.8	8.6	39.6	22.8	22.8	3.6	9.2	▲ 1.9
有料道路(4路線)通行 量 （千台）	729	588	594	663	635	569	572	662	581
前年同月比（%）	6.1	0.8	▲ 2.7	5.6	0.7	0.4	4.6	0.6	▲ 0.2

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去 10 年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<https://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・ 大型小売店販売額	・ 鉱工業生産指数	・ 有効求人倍率	・ 国内企業物価指数
・ 専門量販店等販売額	・ 鉱工業在庫指数	・ 雇用保険受給者実人員	・ 県内金融機関貸出残高
・ 自動車新規登録台数		・ 完全失業率	・ 信用保証協会保証金額
・ 新設住宅着工戸数		・ 所定外労働時間指数	・ 企業倒産件数
・ 清水税関支所管内輸出額			
・ 清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資 料 名	提 供 元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	https://www.ejcs.co.jp/report/public-works/prefecture/
設備投資	日本銀行静岡支店	https://www3.boj.or.jp/shizuoka/index.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	https://www.boj.or.jp/statistics/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資 料 名	提 供 元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	https://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	https://www.mof.go.jp/statistics/
国際収支		
機械受注	内閣府	https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和8年7月号 通巻603号

発 行 静岡県経済産業部
令和8年7月

編 集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1041026/1025441.html>